

放射線健康リスクコミュニケーション活動状況

- ①自治体職員や相談員等の活動の支援、②住民の放射線に関する理解醸成の支援、
③環境再生等に関する情報発信等の活動を実施中です。

(1) 最近の動き

- 環境再生プラザにおいて専門家派遣・モニタリング支援（説明・測定・資料作成支援）等を実施中です。

(2) これまでの実施状況

(6月14日時点)

項 目		実施回数	
		H30年度	今年度
① 自治体職員や相談員等の活動の支援	(ア) 職員向け研修会	36回	5回
	(イ) 専門家派遣	20回	1回
② 住民の放射線に関する理解醸成の支援	(ア) 住民セミナー	38回	1回
	(イ) 車座意見交換会	57回	8回
	(ウ) 個人線量測定の支援(WBC)	87日	17日
	(エ) リスクコミュニケーション拠点（長崎大、弘前大）による活動		
	(オ) ガンマカメラ活用リスクコミュニケーション支援事業	180台・日	公示準備中
③ 環境再生等に関する情報発信（環境再生プラザ）	(ア) 専門家派遣	152件	21件
	(イ) 移動展示	45件 [62日]	6件 [7日]